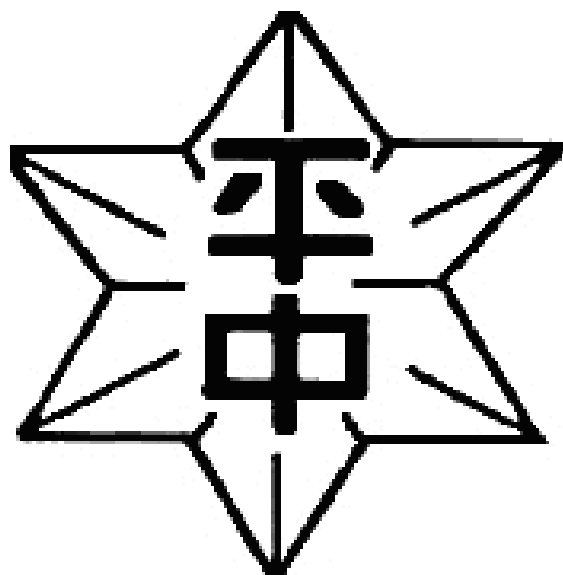


令和8年度

運営に関する計画



大阪市立平野中学校

令和8年4月

大阪市立平野中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は社会に貢献できる生徒の育成を目指し、「あいさつをする、他人の話を聴く、ルールやマナーを守る」等の指導に継続して取り組んでいる。また、教職員が協力・連携し、毎日の登下校指導や生活指導、授業規律を徹底することで、落ち着いた学びの場を維持している。経済状況の悪化や家庭状況により生活が厳しい生徒もいる中、生徒は学習や部活動に前向きに取り組んでいる。しかし、自分の将来や学習に対する目標意識が低い生徒が多く、「全国学力・学習状況調査」、「大阪府チャレンジテスト」等の結果を分析すると、学力の2極化が顕著である。数年前から家庭学習の定着を図る取組を継続して行っているものの、家庭で主体的に学習する生徒の割合は増えておらず、これまでの取組の成果が表れていない。

○学級活動・生徒委員会活動・部活動等の活性化と充実を図り、部活動や生徒委員会に積極的に参加する生徒の育成を通して自己肯定感を高める。

○ICT 機器を授業や家庭で活用し、生徒の個に応じた学びを保障するとともに、家庭学習の定着を図る取組が必要である。

○各教科において生徒の協働学習を推進し、言語活動によって「知識・技能」を活用し「読解力」、「思考力」、「表現力」を育成するための授業改善が必要である。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った実践交流や研修等を実施する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】
→**90%以上**にする
- ② 「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】
→**88%以上**にする
- ③ 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】 →**80%以上**にする
- ④ 不登校生徒の在籍比率【本市調査〔生活指導に関する調査〕】 →**8.62%以下**にする。
- ⑤ 「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合【校内調査】
→**98%以上**にする
- ⑥ 「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合【本市調査〔年度目標アンケート〕】 →**90%以上**にする
- ⑦ 「学校では、命を大切に、平和と人権を尊重する心と態度を学ぶことができた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合【校内調査】 →**97%以上**にする。

【未来を切り拓く学力体力の向上】

- ① 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比（国語） 【全国学力・学習状況調査】 →**1.0以上**にする
- ② 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比（数学） 【全国学力・学習状況調査】 →**1.0以上**にする
- ③ 「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】 →**85%以上**にする
- ④ C E F R A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合【本市調査〔大阪市英語力調査〕】 →**62%以上**にする
- ⑤ 体力合計点の対全国比（男子）（女子）【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 →それぞれ **1.01以上**にする
- ⑥ 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 →**84%以上**にする
- ⑦ 規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う生徒の割合【本市調査〔年度目標アンケート〕】 →**90%以上**にする

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合【本市調査〔年度目標アンケート〕】
→**80%以上**にする
- ② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を**月 30時間以下**とする。
- ③ 「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合【本市調査〔年度目標アンケート〕】 →**64%以上**にする

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ① 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **86%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
85.9			

R7 大阪市実績値 86.9%

- ② 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **80%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
79.2			

R7 大阪市実績値 82.3%

学校独自目標

- ③ 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **73.5%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

- ④ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
8.64			

R6 大阪市実績値 9.55

- ⑤ 年度末の校内調査において、「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する割合を **98%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
98.4			

R6 大阪市実績値 98.3%

- ⑥ 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **80%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

- ⑦ 年度末の校内調査において、「学校では、命を大切に、平和と人権を尊重する心と態度を学ぶことができた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を **97%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
98.7			

【未来を切り拓く学力体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ① 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.01 ポイント向上**させる。
- ② 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.01 ポイント向上**させる。

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
国語	0.89 (3年)	国語 (3年)	国語 (3年)	国語 (3年)
	0.96 (2年)	(2年)	(2年)	(2年)
	0.84 (1年)	(1年)	(1年)	(1年)
数学	0.90 (3年)	数学 (3年)	数学 (3年)	数学 (3年)
	0.93 (2年)	(2年)	(2年)	(2年)
	0.87 (1年)	(1年)	(1年)	(1年)

学校独自目標

- ③ 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **75%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

- ④ 大阪市英語力調査におけるC E F R A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を **52%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
50.0			

R7 大阪市実績値 60.3%

- ⑤ 全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比 → **男子 0.95 女子 1.00 以上**にする

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
男子 0.92			
女子 0.99			

R7 大阪市実績値
男子 1.00 女子 1.01

- ⑥ 年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **80%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

- ⑦ 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **80%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ① 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **70%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
—			

R7 大阪市実績値 ー%

- ② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を **月45時間以下**とする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年

学校独自目標

- ③ 年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を **64%以上**にする。

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
63.8			

R7 大阪市実績値 67.0%

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】	
<h1>結果等記入欄</h1>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
【安全・安心な教育の推進】	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の約束やルール、マナーの確認を行い、現状にあった約束やルール・マナーについて考える活動を行う。 ・ 日常生活や行事において、生徒実行委員会などを発足し、生徒主体の活動を昨年度より増やす。 ・ 月に1回、生徒専門委員会を開き、委員会で出た意見などを生徒議会で共有する。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を見つめ、自尊感情を高めることを活動ごとに盛り込んでいく。 ・ 生徒一人ひとりの個性を捉えて、積極的に参加できる活動を模索していく。 ・ 生徒の活動・よいところを、日常、集会、通信等で紹介し、集団で共有していく。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末の「心とからだの天気」「相談機能」を毎日活用し、実態の把握に努める。 ・ 月に1回、学校生活アンケートを実施し、年に3回、教育相談週間を設けて、子どもの心のケアに努める。 ・ 全教職員で、生徒の個別状況について把握し、共通理解を図る。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休みがちな生徒に対して、協力できるなかまづくり活動を模索していく。 ・ 教職員が不登校生徒に対し人間関係を構築しながら、外部機関と連携しながら個別の対応を模索する。 ・ 毎月、職員会議にて生徒の個別状況について把握し、全教職員で共通理解を図る。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率</p>	
<p>取組内容⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホ安全教室を行い、適切な使い方を学習する。 ・ SNS によるトラブルが発生した場合は、事案の内容に基づいて適切な指導を行う。 ・ 保護者に対し、生徒のスマホ利用の啓発活動を行う。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する割合</p>	

<p>取組内容⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳や性教育などで命の大切さを知る・考える活動を行う。 ・ なかまを認め合い、協力できるなかまづくり活動を模索していく。 ・ 教職員が定期的に研修を行い、資質を高める。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教育部会、それぞれの発案による授業を年間に最低1テーマ行い、生徒に豊かな人権感覚を身につけさせる。 ・ いじめの疑いのある事案やSNSによるトラブルが発生した場合は、その事案に基づいて人権教育を行う。 ・ 平野区人権教育講演会、ならびに平野区人権教育実践交流会への教職員の参加を促す。 	
<p>指標</p> <p>年度末の校内調査において、「学校では、命を大切にし、平和と人権を尊重する心と態度を学ぶことができた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力体力の向上】	
<h1>結果等記入欄</h1>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
【未来を切り拓く学力体力の向上】	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語に対して苦手意識のある生徒には、放課後学習会への参加を促し、学力の定着を図る。また、夏休みの補充学習を行う。 ・漢字テストを定期的実施、問題集を単元ごとに学習できているかを確認する。年間5回の定期テスト後に振り返り学習を行う。 ・国数の学びサポーターに協力を求め、学力の底上げを行う。 	
<p>指標</p> <p>中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較</p>	
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学に対して苦手意識のある生徒には、放課後学習会への参加を促し、学力の定着を図る。また、夏休みの補充学習を行う。 ・各単元ごとの小テストの実施、年間5回の定期テスト後に振り返り学習を行う。 ・国数の学びサポーターに協力を求め、学力の底上げを行う。 	
<p>指標</p> <p>中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較</p>	
<p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の専門委員会に向けて学級討議の時間を設け、学級で話し合い活動を行う。 ・全ての教科で、自身の考えを発表できる活動や時間を確保し、相手の意見を聞き、自分の考えを深め、伝える力を伸ばす。 ・話し合いの活動を通して、壁新聞や掲示物を含め、自身の学習内容・取り組み内容を表現する機会をつくる。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びサポーターと協力し、放課後学習会で基礎的学力向上を図る。 ・C-NET と協力し、英語の4技能を授業で補い、言語活動を充実させる。 ・単元毎に、小テスト等を実施し、学習習慣を身につけさせる。 	
<p>指標</p> <p>大阪市英語力調査におけるC E F R A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合</p>	
<p>取組内容⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせ補強運動の強度を工夫し、体力、筋力向上に努める。 ・授業時間の中で35分以上運動量を確保できるような授業内容を工夫し体力向上につなげる。 ・全国体力運動能力の測定に向け、8種目の練習量を増やす。 	

<p>指標</p> <p>全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比</p>	
<p>取組内容⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を学期に 1 回使用し、自身の動きの振り返りを実施し技能向上に努める。 ・ 主体的に取り組み、各単元 1 回以上グループ活動を行い、他者に伝える力を育成する。 ・ 各単元の中で生徒間の肯定的なコミュニケーションの場を増やす。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育通信・保健だよりを毎月(年 1 0 回)発行する。 ・ 「心とからだの天気」の朝食の喫食状況と睡眠時間の入力を促す。 ・ 保健体育の授業で、健康についての単元後にワークシートで自身の基本的な生活習慣を振り返り、考えさせる。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【学びを支える教育環境の充実】	
<h1>結果等記入欄</h1>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
【学びを支える教育環境の充実】	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習やフィールドワークなど、行事に関する取り組みで学習者用端末を活用する。 ・授業における学習の過程やまとめの際に、学習者用端末を用いて自分の考えの可視化や整理をし、他者に伝える活動を取り入れる。 ・委員会活動等において、学校の課題解決に向けた情報収集や生徒への呼びかけ等での学習者用端末の活用を推進する。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の特徴を踏まえ、効率化を進めることができる部分について、見直しを検討する。 ・学校行事、会議、校務等の内容の検討を随時進め、勤務時間の削減に繋げる。 ・長時間勤務の解消とともに、「働きやすさ」、「働きがい」を実感できる職場環境を整える。 	
<p>指標</p> <p>教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間</p>	
<p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週3日の朝読書の時間を確保する。 ・文化委員による本の紹介や、図書室開館を年間90日以上実施し、様々な本に触れる機会を設ける。 ・平野区役所が推進する「ひらちゃんノート」の提出を20冊以上にするため、文化委員が取り組みの啓発を行う。 	
<p>指標</p> <p>年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	